

宮古

ワイドーぱり

「活力ある農業」の意味（ワイドー=がんばれ、ぱり=畑）

発行所

宮古農林水産振興センター農業改良普及課

〒906-0012 宮古島市平良字西里1125

TEL : 0980-72-3149

FAX : 0980-72-9751



## 宮古各地で畜産共進会開催！！

## 令和7年度宮古島市畜産共進会

令和7年度7月12日（土）にJAおきなわ宮古家畜市場で、宮古島市畜産共進会が開催され、今年は宮古総合実業高校からの出品もあり、若雌第1類に9頭、2類に6頭、高等登録群に4頭（2組）の3部門に合計19頭が出品されました。

出品牛は全体的に体積豊かで、肩付きの良い牛が多く見られました。各部門で上位3位までが、8月13日に開催される宮古地区畜産共進会に推薦されます。また、開会式では地域の子供たちによるチアダンスや太鼓の演武で盛り上がり、子供向けの模擬セリ、牛そばやかき氷の無料配布もあり、畜産農家だけでなく家族連れなど一般の来場者も多く、大盛況でした。



## 令和7年度多良間村畜産共進会

令和7年度7月14日（月）にJAおきなわ多良間家畜市場で、多良間村畜産共進会が開催され、子牛の部1～6類に19頭、若雌第1類に5頭、2類に9頭、高等登録群に2頭（1組）の9部門に合計35頭が出品されました。

出品牛は全体的に体積豊かで、骨味の良い牛が多く見られました。また、参加農家は審査員による審査講評を熱心に聞き入り、メモを取っている方も見られ、意欲の高さが感じられました。若雌1類、2類、高等登録群の各部門において上位に選ばれた牛の中から出品資格を満たす牛が、8月13日に開催される宮古地区畜産共進会に推薦されます。また、高等登録群の親子牛を用いて、審査員より測定部位と測定した数値がどの様な意味も持つか等についてミニ講座も行われ、有意義な共進会となりました。



審査の様子



ミニ講座の様子



表彰式の様子

# R7年度土壌検診週間の診断表の見方について

宮古地区土づくり運動推進協議会では、6月30日～7月2日にかけて、土壌分析を実施しました。今年度の分析点数は、238点(提出者68名)でした。

分析の結果、施設栽培では、特にリン酸とカリウムが蓄積しているほ場が多くみられます。リン酸、カリウムの過剰な蓄積によってバランスが崩れると、微量元素の欠乏症等の生理障害を誘発しやすくなるので、基肥としてハイパーCDUやゼロカリ肥料などリン酸やカリ分の少ない肥料を選びましょう。

(例)

① pHが高い(石灰が多いことが原因)  
→ゴーヤの適正pHは約6～7。これ以上pHを上げないために石灰質資材を使わない。

分析項目	(単位)	分析値	適正範囲		判定		
			下限	上限	低い	適正	高い
pH		7.6	5.5	7.0	高い		
EC	mS/cm	0.1	0.0	0.5	適正		
交換性石灰	mg/100g	800	190	383	高い		
交換性苦土	mg/100g	103	67	112	適正		
交換性加里	mg/100g	72	25	53	高い		
可給態リン酸	mg/100g	226	20	75	高い		
腐植	%	2.3	2.0	5.0	適正		
CEC	me/100g	19.6	土壌固有値		適正		
石灰苦土比	Ca/Mg	5.6	3.0	6.0	高い		
苦土加里比	Mg/K	3.4	2.0	4.0	高い		
推定硝酸態窒素	mg/100g	1.4	0.0	5.0	適正		

② リン酸・カリウムの蓄積が見られる  
→リン酸・カリウムが少なめの肥料を使用する。  
例) ハイパーCDUなど

※土壌中にバランスよく、養分が含まれていることが、大切です。

## 地力の向上に堆肥、緑肥を投入しましょう

ソルゴー (イネ科)

～緑肥の選び方～

クロタラリア (マメ科)

- 有機物の増加 (堆肥換算2～3トン)
- 深根性のため土壌改良効果あり  
→固く締まっている土地に有効
- ◎出穂前後にすき込む

- 空気中の窒素を土壌中に還元  
→地力が低い・痩せた土地に有効
- ◎開花前にすき込む

緑肥すき込み後、1ヶ月以上経ってから、作付けを行いましょう！

### △重要なお知らせ△

土壌分析に使用する機械が廃盤となったため、今年度をもって土壌検診週間を終了することとなりました。来年度より、分析を希望する方は民間分析機関へ自費での委託をお願いします。

# 秋作オクラの植付けと台風対策



## ●春作との違い

気温も高く発芽や生育環境が良いため、通常（春作）の施肥管理だと過繁茂となり、着果が遅くなってしまいます。

→ **基肥の量を通常の半分以下、または基肥なし・追肥中心の施肥管理を行う**

## ●秋作オクラの基肥事例

春作の場合（10a）あたり  
堆肥 1～3トン  
化成肥料 2～3袋  
※窒素分の目安 9kg/10a



（提案）

秋作の場合（10a）あたり  
堆肥 1～2トン  
過リン酸石灰 2袋

**過繁茂を防ぐため、窒素を減らす。  
過リン酸石灰は花芽を促すため**

## ●台風対策について

台風対策は、通過後の回復を早くするためにも**事前の対策**が重要です。

- ①伸びすぎた、木が堅い、がちりしている場合→切り戻し
- ②生育初期で木が柔らかい場合→ネット等のべたがけ

切り戻しを行う際は、側枝の発生を促すために追肥を行いましょう。



切り戻し（30～50cm）



防風ネットべたがけ



ネットなし



ネットあり

## ●台風通過後は・・・

- ①葉等に付いた塩分を水で洗い流す
- ②倒伏した株を起こして、土寄せを行う（根が傷つくのを防ぐ）

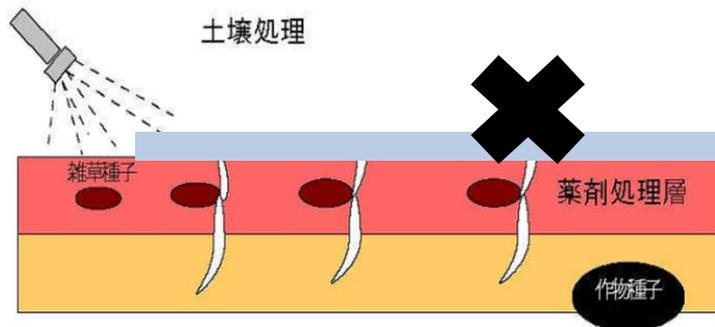
台風対策を行うことで回復も早くなります。必ず対策を行いましょう!!

# 雑草管理は「初期防除」から！！

除草剤は大きく分けて2つに分類されます。土壌処理剤も上手に使いましょう。

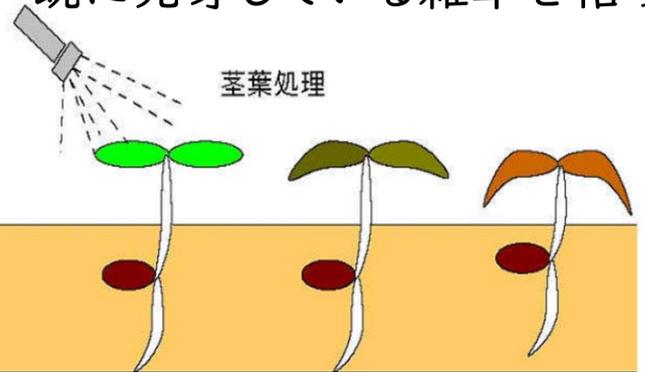
どじょうしよりざい  
**土壌処理剤**

これから発芽する雑草を枯らす



けいようしよりざい  
**茎葉処理剤**

既に発芽している雑草を枯らす



## 土壌処理剤を効果的に使用するポイント

### ① 植付～1週間後を目処に散布

▣ 除草剤を散布した場所は、次の施肥や培土まで踏まない（耕さない、薬剤処理層を壊さない）

### ② 土壌が乾いている時には、希釈水量を多めに調整

▣ 土壌が乾燥気味では除草効果が低下することも・・・！

### ③ 雑草が発芽したら、茎葉処理剤に切り替える



## ☀️ 梅雨明けからは、十分なかん水を！！

さとうきびの生育には**水**と**太陽**!!!

梅雨前後から9月までは、さとうきびが最も成長する時期（生育旺盛期）です！



1週間に1回程度、30t/10aのかん水を行いましょう。

# 新規就農者等の支援活動について

農業改良普及課では、就農を希望する方や新規就農者を対象に、関係機関と連携した支援を行っています。

## 1 新規就農サポート講座

就農を志す方を支援するため、就農3年未満の新規就農者、青年農業者、就農希望者等を対象に年6回開催しています。関係機関の業務、農家支援対策・制度、基本的な栽培技術などに関する幅広い内容となっています。

年度途中からの受講も可能なので、関心のある方はお問い合わせ下さい。



※HP講座日程掲載



R7年度 第1回講座

## 2 就農ステップアップ講座

早期の経営確立を支援する目的で、新規就農支援事業活用者を主対象として開催しています。品目別に、実践的な栽培(飼養)技術、施設管理、病虫害防除、農業経営などに関する座学・現地検討会を行っています。講師は地域農業のリーダーである指導農業士等が務める場合もあり、先輩農家から経験を交えた助言を受けられ、また、知り合える良き場ともなっています。



R7年度 オクラ現地検討会

## 3 新規就農に向けた長期農家研修

地域農業と次世代を担う農業者として新規就農する志を持ち且つ農地の権利取得等に目処が付き就農が確実と見込まれる方で、実践的農家研修を希望する方に対し、指導農業士等のもとでの長期研修を支援しています。

研修は、国の新規就農者育成総合対策「就農準備資金」や(公財)沖縄県農業振興公社の新規就農促進事業を活用して実施します。

## 4 就農サポートチームによる巡回指導

国の農業次世代人材投資事業「経営開始型」交付対象者について、サポートチーム(市、村、JA、県家畜保健衛生課・普及課、農業士等)を編成し、早期の経営安定に向けた支援活動を行っています。内容は、対象者が提出する書類(就農状況報告書、確定申告書等)及び圃場巡回等による就農状況の確認(就農計画に則した農業所得を上げているか、計画達成に向けた農業活動を行っているか等)と、抱えている課題の共有化、指導、アドバイス等です。



令和6年度 巡回指導(畜産)



## 宮古地区就農青年クラブ連絡協議会の紹介



本協議会は、青年農業者の生産技術向上と仲間づくりを目的に、現在14名の会員が加入し、活動しています。（女性会員や多良間村会員もいます）

農業のことを気軽に相談できる仲間づくりや、研修を通して島内外の青年農業者との交流に取り組んでいます。

### 活動の様子



幼稚園及び小学校で  
野菜の植付支援



スマート農業研修  
(谷間自動開閉装置)



プロジェクト活動  
(受賞式)



農業生産に係る  
防犯パトロール



八重山青年クラブとの交流  
(R6年は宮古島にて、R7年は石垣島予定)



農業をしている方や就農希望の  
20～40代の皆さん  
一緒に活動しませんか！  
Instagramでも活動紹介しています



宮古の産業まつりでの苗販売  
(左：苗づくり、右：販売の様子)



MIYAKO\_4HCLUB



- 青年クラブ主催の研修会は、クラブ員以外の青年農業者や就農希望者も参加できます♪
- 興味のある方は、お気軽に普及課またはクラブ員にお声かけください！